

MOS試験 対策講座

第2回 Word試験のポイント「箇条書き」と「ヘッダー」

MOS試験に合格するには、試験範囲に含まれている機能を熟知し、素早く操作できるようにしておく必要がある。今回はWordスペシャリスト（一般）の試験範囲から、代表的な機能を取り上げて、操作のポイントを解説する。

（佐藤 薫 (ZUGA) =ライター）

●「箇条書き」や「ヘッダー」の問題に挑戦

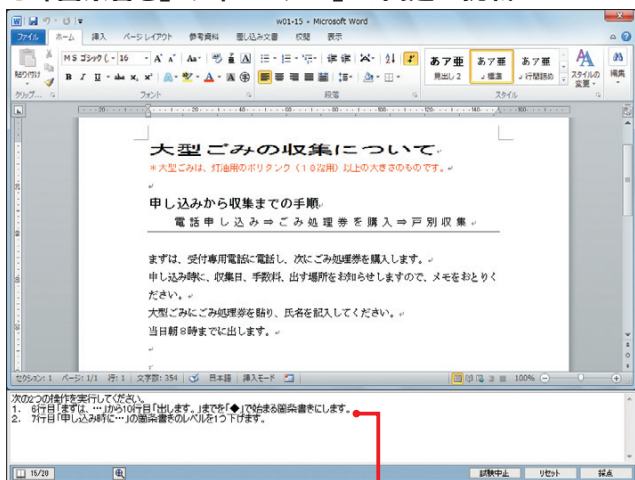


図1 「MOS攻略問題集 Word 2010」(日経BP社)に付属する模擬テスト問題の例。今回は、この2問を含めて、箇条書きやヘッダー/フッターの機能について解説しよう

次の2つの操作を実行してください。

1. 6行目「まずは、…」から10行目「出します。」までを「◆」で始まる箇条書きにします。
2. 7行目「申し込み時に…」の箇条書きのレベルを1つ下げます。

●「◆」で始まる箇条書きにする

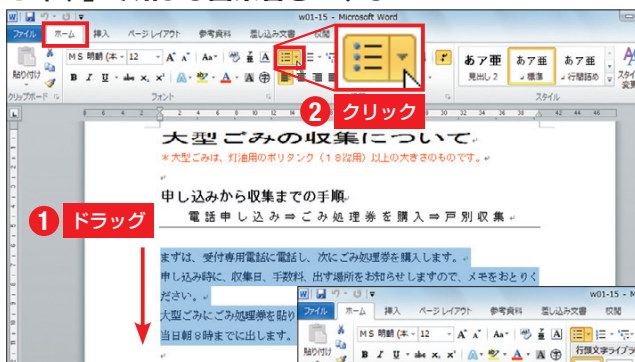
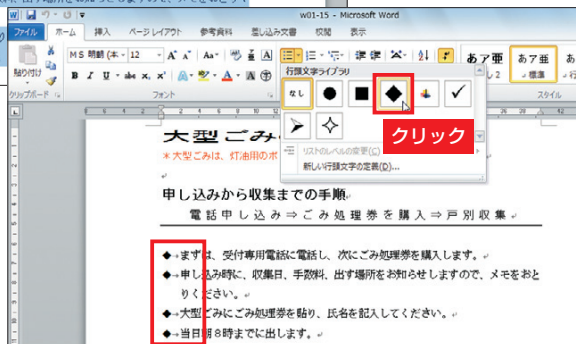


図2 1問目の箇条書きを設定しよう。指定された6～10行目の左側をドラッグして各段落を選択。「ホーム」タブにある「箇条書き」ボタン右の▼をクリックする

図3 開いた記号の一覧から、「◆」を選ぶ。リアルタイムプレビュー機能により、マウスポインターを合わせるだけで適用後のイメージを確認できる。なお、「行頭に段落番号を付ける」という問題なら、「箇条書き」ボタンの右にある「段落番号」ボタンを使う



第2回と第3回では、Word 2010のスペシャリスト（一般）試験を取り上げる。試験範囲は、MOSの公式Webサイト (<http://mos.odyssey-com.co.jp/>) で「試験概要」から各科目のページを開き、「出題範囲」を見れば分かる。PDFファイルで提供されている情報の方が、より詳しく機能の例を挙げているのでチェックしておこう。その中から今回は、試験に出やすい「箇条書き」と「ヘッダー」の問題を解説する。

箇条書きとレベル下げ

早速、日経BP社の「MOS攻略問題集 Word 2010」に付属する模擬テスト問題を例に解説していく(図1)。箇条書きは行頭に記号を挿入する機能。1問目は指定された記号を行頭に表示させる基本問題だ。

箇条書きにする範囲を選択するには、行の左側にマウスポインターを合わせて縦方向にドラッグ。すると、複数行を素早く選択できる。この状態で、「ホーム」タブの「箇条書き」ボタン右にある▼をクリック(図2)。開く一覧から記号を選択する(図3)。

続く2問目は、「箇条書きのレベルを1つ下げる」という問題だ。対象となる行を選択し、「箇条書き」ボタン右の▼をクリック。一覧から「リ

ストのレベルの変更」を選ぶ。すると9段階のレベルがメニュー表示されるので、現在の1つ下に当たる「レベル2」を選択する(図4)。レベルを変えると、インデントの幅や行頭の記号が変わる(図5)。このように簡条書きのレベルを設定すると、階層

のある簡条書きが作れる。

なお、複数の操作方法がある場合、問題で操作方法を特定していなければ、どの操作で解答しても正解となる。先ほどのレベル下げの問題なら、「ホーム」タブの「インデントを増やす」ボタンをクリックして実行して

もよい。

次に、簡条書きの応用テクニックとして、画像から行頭文字を作成する操作を紹介しよう。

「簡条書き」ボタン右の▼をクリックし、開くメニューから「新しい行頭文字の定義」を選択。「新しい行

●簡条書きのレベルを1つ下げる

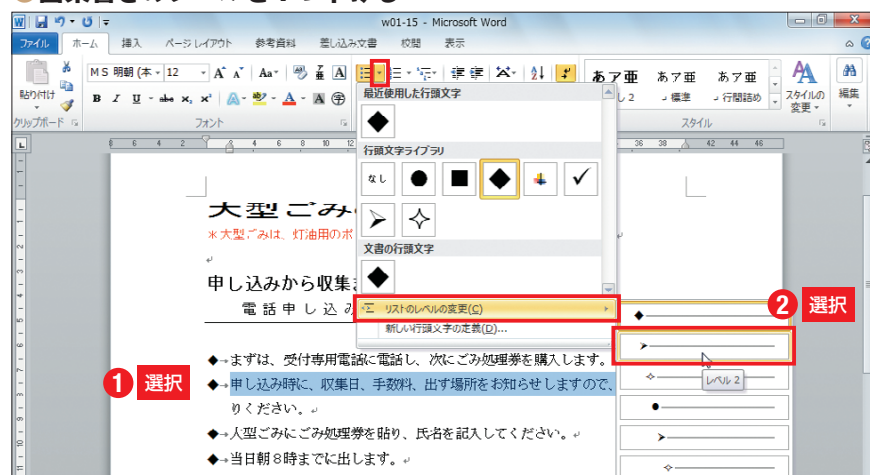


図4 2問目は、簡条書きの階層を下げる問題だ。指定された行を選択して「簡条書き」ボタン右の▼をクリック。開いたメニューで「リストのレベルの変更」を選び、さらに簡条書きのレベル(ここでは「レベル2」)を選択する

◆→まずは、受付専用電話に電話し、次にごみ
➢→申し込み時に、収集日、手数料、出す場
おとりください。
◆→大型ごみにごみ処理券を貼り、氏名を記入
◆→当日朝8時までに出します。

図5 簡条書きのレベルが変更されると、左インデントと行頭の記号が変わる。「ホーム」タブの「インデントを増やす」ボタンを選択しても同じ結果になり、どちらの操作で解答しても正解となる

●画像を使用して新しい行頭文字を作成

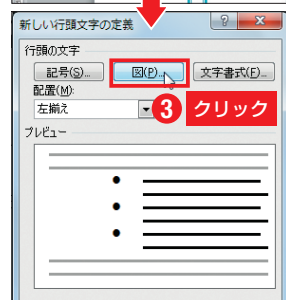
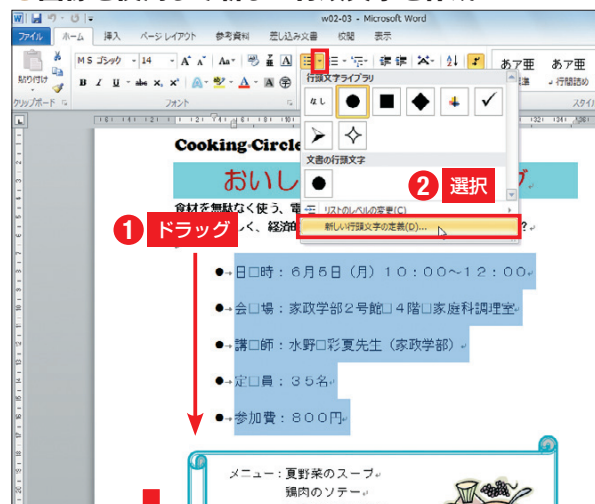


図6 簡条書きに関連して、画像ファイルから行頭文字を作成する手順を紹介しよう。段落を選択して「簡条書き」ボタン右の▼から「新しい行頭文字の定義」を選択(上)。開く「新しい行頭文字の定義」の画面で「図」をクリックする(左)

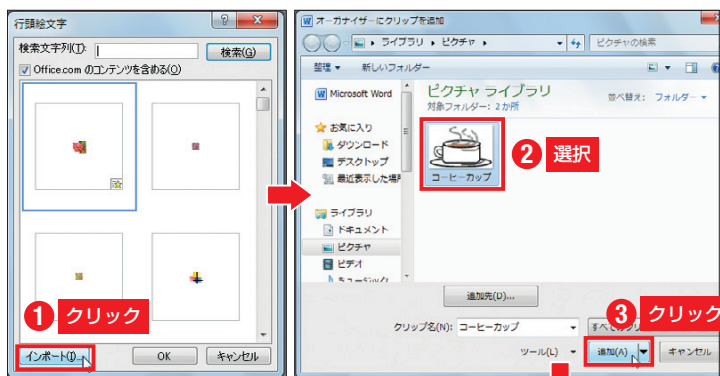


図7 「行頭絵文字」の画面で「インポート」ボタンを押し(上左)、ファイル選択画面で目的の画像ファイルを選択(上右)。「追加」ボタンを押すと、画像ファイルが取り込まれて「行頭絵文字」画面に表示される(右)

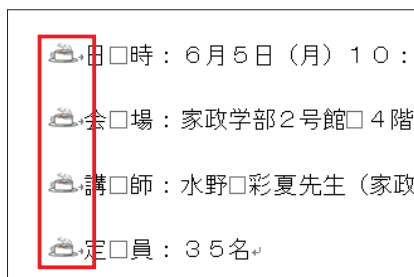


図8 図7の画面で「OK」を押し、戻った図6で「OK」を押せば、行頭文字として挿入される

頭文字の定義」画面が開いたら、「図」ボタンを押す(図6)。すると、記号の一覧から行頭文字が選べる「行頭絵文字」画面が開く。

この画面で「インポート」をクリックし、次の画面で画像ファイルを指定して「追加」ボタンを押すと、先ほどの「行頭絵文字」画面に画像が取り込まれる(図7)。この画像を選択して「OK」ボタンを押し、さらに元の画面で「OK」ボタンを押せば、画像が行頭文字になる(図8)。

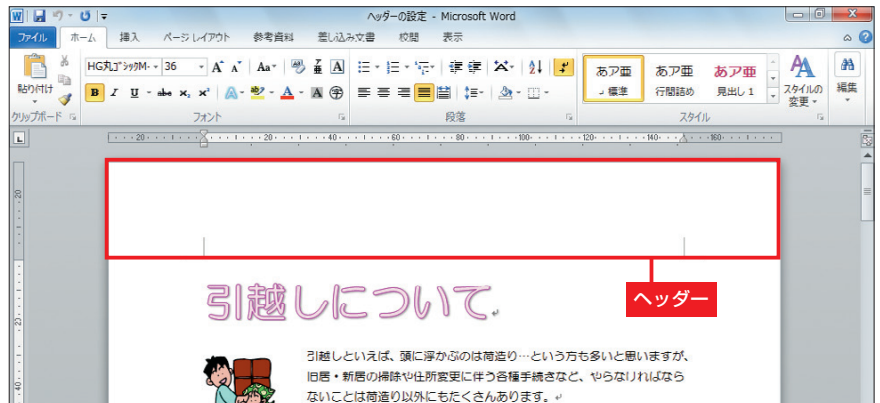
「ヘッダー」を設定する

続いて、「組み込みのヘッダーを挿入し、文書のタイトルを入力する」という問題を解説する(図9)。ヘッダーとは、ページの上部に日付や文書名などの情報を印刷する機能。ヘッダー領域に直接入力したり、あらかじめデザインやレイアウトが設定された「クイックパーツ」を利用したりできる。この問題でいう「組み込みのヘッダー」とは、クイックパーツのことだ。

「挿入」タブにある「ヘッダー」ボタンを押すと、クイックパーツの一覧が表示される(図10)。ここから目的のクイックパーツを選択することで、見栄えの良いヘッダーを手早く挿入できる。ヘッダー領域に文字を直接入力する場合は、「ヘッダーの編集」を選ぶ。

ヘッダーを挿入すると、リボンに「ヘッダー／フッターツール」の「デザイン」タブが表示され、ヘッダー領域が編集できる状態になる。ここで使用したクイックパーツの「アルファベット」は、ヘッダーに文書タイトルを入力する青い枠が用意され

●「ヘッダー」を挿入し、文書のタイトルを入力



組み込みのヘッダー「アルファベット」を挿入し、文書のタイトルに「暮らしのガイド」と入力します。

図9 「ヘッダー」に関する問題を考えてみよう。ヘッダーとは、ページ上部にある情報を表示する領域のこと。ここでは「クイックパーツ」を使用してヘッダーを作る操作を練習してみる

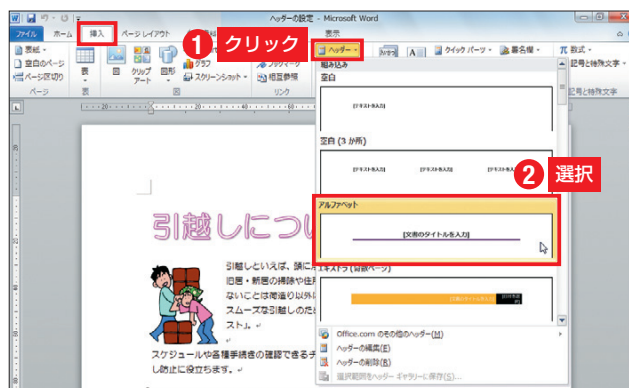


図10 「挿入」タブの「ヘッダー」ボタンを押すとクイックパーツの一覧が表示される。ここでは「アルファベット」というパーツを選択した。クイックパーツを使用せずに、ヘッダーを編集する場合は、一覧の下にある「ヘッダーの編集」という項目を選ぶ

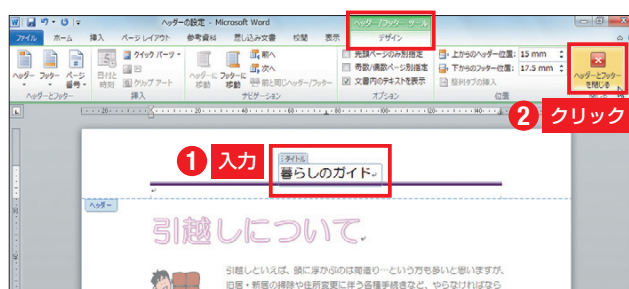


図11 ヘッダーが編集可能になり、本文は淡色で表示される。文書のタイトルを入れる青い枠を「コンテンツコントロール」といい、これを選択して文字を入力する。ヘッダーの編集を終了するには、「デザイン」タブの「ヘッダーとフッターを閉じる」ボタンを押す

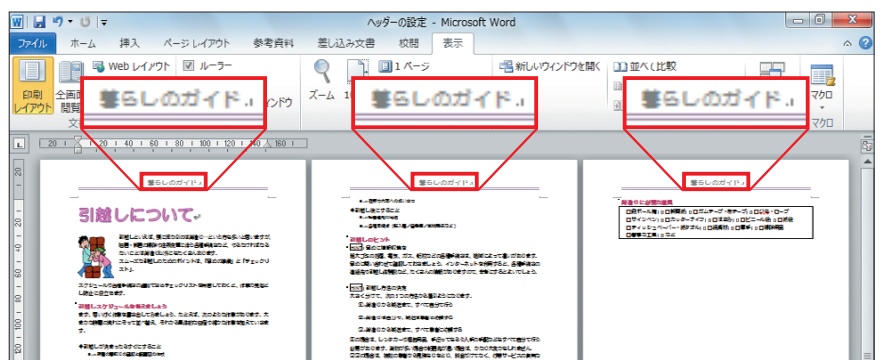


図12 表示を縮小して全ページを表示してみた。全てのページにヘッダーが挿入されている

る。これを選択して文書のタイトルを入力しよう(図11)。ここに入力した文書のタイトルは、文書のプロパティにも保存される。

ヘッダーの編集中は、本文の領域は淡色になっている。ヘッダーの編集を終了して本文の編集に戻るには、「ヘッダーとフッターを閉じる」ボタンをクリックする。または本文領域をダブルクリックしてもよい。すると今度はヘッダー領域が淡色になる。画面の表示を縮小して全ページを表示してみると、文書の全てのページに同じヘッダーが挿入されていることを確認できる(図12)。

ちなみに、ページの下部にページ番号などを印刷する「フッター」は、「挿入」タブの「フッター」ボタンから挿入する。フッターとヘッダーに同じ名称のクイックパーツを選択すれば、デザインの統一された文書に仕上げることができる。

奇数ページだけにヘッダー

ヘッダー／フッターは、奇数ページまたは偶数ページだけに表示させることができる。クイックパーツにも奇数ページ用と偶数ページ用があるので、ここでは「パズル(奇数ページ)」を設定してみよう(図13)。

ところが、表示を縮小して確認すると、奇数ページ用を選んだはずなのに、ヘッダーは全ページに表示されている(図14)。奇数ページだけのヘッダーにするには、「デザイン」タブで「奇数／偶数ページ別指定」をオンにする必要があるからだ。このチェックボックスは標準ではオフなので要注意。ここにチェックを入れる操作がポイントになる(図15)。

●ヘッダーを奇数ページだけに表示する

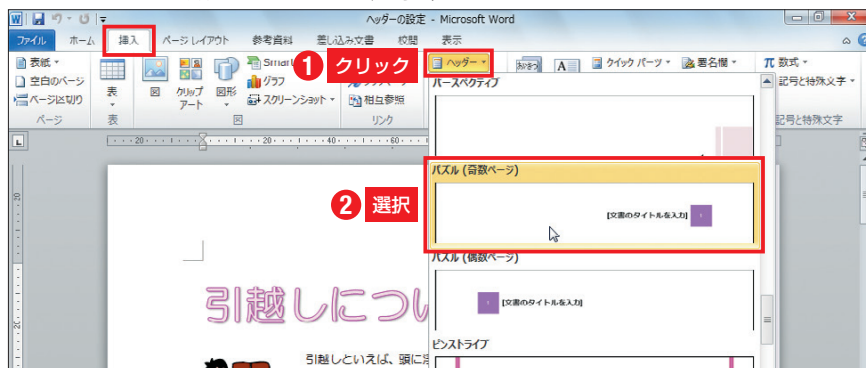


図13 ヘッダーやフッターは、奇数ページまたは偶数ページだけに挿入することもできる。クイックパーツにも奇数ページ、偶数ページ専用のデザインが用意されている

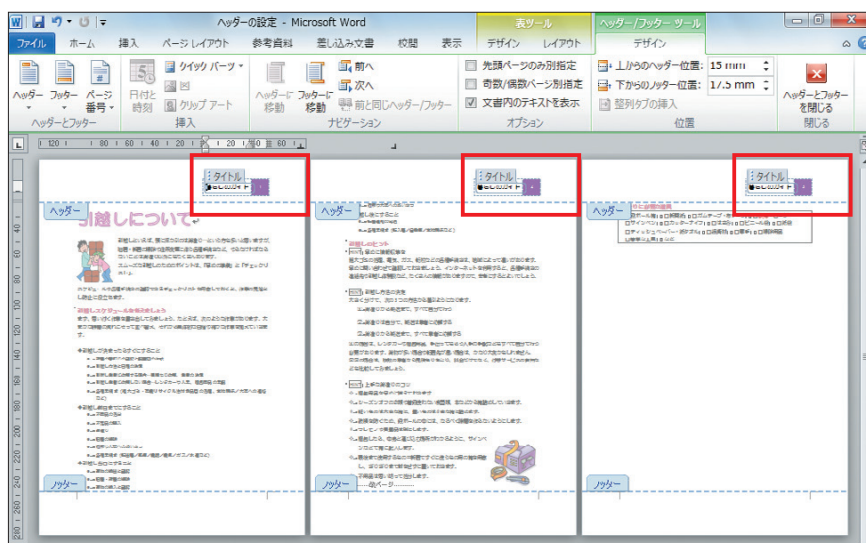


図14 「パズル(奇数ページ)」を選択したが、全てのページにヘッダーが表示されている

